

クラス番号	221	ゼミタイプ	エクスカージョン型
		担当教員名	添田 正揮
テーマ	人間の多様性（ダイバーシティ）が尊重される社会の実現に向けた取組みと仕組み ～愛知県における多文化共生社会づくりに着目して～		

## ゼミナール概要

### <目的・内容>

多様性（ダイバーシティ）という用語はさまざまな分野で用いられており身近になっていますが、社会福祉においては、人間の多様性とそれに関連する諸問題に着目します。ソーシャル・インクルージョンは、すべて人を孤独や孤立、排除や摩擦から守り、ウェルビーイングの実現に向け、社会の構成員として包み支え合うことを目指す理念であり実践です。国内外を問わず私たちの社会では、他者との違い（差異）を理由に命や尊厳、人権を脅かす攻撃や排除、差別や偏見などが起きており、社会福祉において深刻な問題となっています。

現在、日本には多くの外国にルーツのある人が生活しています。在留外国人数が最も多いのは東京都の 62 万 7,183 人で全国の 19.5%を占め、愛知県は 2 番目に多く、29 万 7,248 人となっています（出入国管理庁「令和 5 年 6 月末現在」）。愛知県内でみると、県内総人口 7,478,574 人に占める外国人住民数の割合は 4.16%です（愛知県統計課「あいちの人口（2024 年 1 月 1 日現在推計人口）」）。外国人住民は、日本を支える上で大きな力となっている一方、在留期間の長期化、定住化・永住化、多国籍化が進んでおり、労働、社会保障、医療、教育などの分野で様々な課題が存在しています。

ゼミでは、外国人住民と日本人住民が互いの文化や考え方などを理解し、安心して快適に暮らせる地域社会（多文化共生社会）づくりを推進するための地域住民、ボランティア、NPO、企業、自治体などの多様な主体による取組みと仕組みを理解することを目的とし、皆さん自身が実践する主体となることを目指します。

### <授業計画>

#### 前期

- ・ダイバーシティの考え方やグローバリゼーションに関する理論や歴史など基礎的知識のレクチャー
- ・世界・日本全体、愛知県のダイバーシティやグローバリゼーションについて調べる
- ・各自の問題意識や関心のあるテーマを設定し、調べた内容についてプレゼンテーションを行う
- ・学生のテーマに応じたフィールドワーク先を選定する

#### 後期

- ・フィールドワーク（個人またはグループで訪問する）
- ・フィールドワークの成果をまとめる
- ・クラス全体で発表会を行う（フィールドワーク先のスタッフに参加を呼び掛ける）

※フィールドワークは、愛知県内の自治体や NPO を中心に皆さんが学びたい施設に出かけます。そのため、交通費がかかります。

## 担当教員からのメッセージ



これまで、社会福祉協議会、大学、厚生労働省、教育団体においてソーシャルワーカーとしての自覚と責任をもって実践してきました。また、社会的な活動としては、人身取引や DV 被害を受けた外国籍女性や子どもを支援する NPO に関わっています。専門は、グローバル社会・国際化社会におけるソーシャルワーク、国際福祉、人間の多様性（ダイバーシティ）とソーシャルワークです。国内・国外の人権問題や社会福祉問題に取り組んでいます。

このゼミを通して、これらの問題を解決するための理念や方法を学習し、異なる視点や経験を尊重し、共感する能力を育成し、インクルーシブな環境を作り出すことができる人材を目指し、一緒に取り組んでいきましょう。